

パイオニアインタビュー 第33回 (その1)

木村 美佳 氏 国際生命科学研究機構(ILSI Japan:イルシー・ジャパン) CHPプロジェクト マネージャー  
**アジアに広がるILSI Japan CHPの活動**

ILSI Japan CHP(イルシー・ジャパン・シーエイチピー)は、栄養学・公衆衛生・医学・衛生環境分野における知見や技術を活用し、国内および世界に共通した課題の解決によって社会貢献を行うことを目標としています。ILSI Japan CHPのプロジェクト マネージャーである木村美佳氏の話をお送りします。

**—木村さんの所属するイルシー(ILSI)と日本支部(ILSI Japan)の活動について教えてください。**



木村

イルシー(ILSI:International Life Sciences Institute)は、1978年にアメリカで設立された非営利の団体で、健康・栄養・安全・環境に関する科学研究の実施・支援を行っています。最近では特に「肥満」「食品バイオテクノロジー」「機能性食品」「食品安全・リスクアセスメント」の4つに力を入れて、活動を進めています。

イルシー・ジャパン(ILSI Japan)は、イルシーの日本支部として1981年に設立され、2001年にNPO法人の認証を得ました。イルシーの一員として、世界的な活動を行うとともに、日本独自の問題にも取り組んでいます。



私は、大学では生化学や栄養の勉強をしており、卒業後は、主にマウスなどを使った動物実験をしていました。たまたま縁あって、イルシー・ジャパンの研究関連事業のお手伝いをしたところ、CHPの活動を手伝ってほしいかと誘われました。CHP(Center for Health Promotion)は、日本語では健康推進協力センターという名称で、アジア地域のヘルス・プロモーションを行う拠点となっています。

**—CHPで現在進行中のプロジェクトが3つあるそうですね。**



木村

今回、主にお話しするのは、「Project PAN(プロジェクト・パン)」の中の「TAKE10! @ (テイクテン! @)」というプログラムですが、このほかに「Project IDEA(プロジェクト・アイデア)」と「Project SWAN(プロジェクト・スワン)」があります。

簡単にIDEAとSWANについて紹介しますと、「Project IDEA(プロジェクト・アイデア)」のIDEAは、Iron Deficiency Elimination Actionの略で、鉄欠乏性貧血症の撲滅運動です。アジアの途上国の貧困を助長させる大きな要因となっている鉄欠乏症の解決のために活動しています。

鉄欠乏性貧血症の予防には、毎日の食事の中から鉄分を摂取することが必要ですが、さまざまな事情で、鉄分が十分に取れない方がいます。そこで日常的に食べるものの中に鉄分を添加するのですが、国や地域によって、食文化や人々の嗜好が異なりますから、それに合わせて添加する食品を変えています。

例えば、中国なら醤油、ベトナムなら魚醤、フィリピンでは米に鉄分を添加しています。添加によって、味や見た目を変えない工夫も必要になります。

「Project SWAN(プロジェクト・スワン)」のSWANは、Safe Water and Nutritionの略で、安全な水の供給と栄養・保健環境の改善活動を展開しています。水の処理も国や地域によって千差万別です。料理や食事の前に手を洗う習慣化していなかったり、料理を戸外の地面の上で行う地域もあります。

また多額の費用をかけて建設した水処理施設が、メンテナンスのノウハウがないために、維持できないケースもかなりあります。そこで私達は、住民による施設のメンテナンスができるように支援する活動も行っています。



### —3つ目が「Project PAN:Physical Activity and Nutrition(プロジェクト・パン)」ですね。



木村

次回から詳しくご紹介する「TAKE10!®(テイク テン!®)」は、「Project PAN(プロジェクト・パン)」の中にある2つのプログラムの中の1つです。もう1つは「LiSM10!®(リズム テン!®)」といい、職域における生活習慣病予防のためのプログラムです。

テイクテンは、子どもの肥満予防を目的に、アメリカで開発されたプログラムですが、超高齢化が進む日本では、アメリカ版の「運動と栄養」というコンセプトのみを採用し、高齢者の健康維持を支援するプログラムとして開発しました。

したがって、日本版テイクテンの大きな特徴は、高齢者を要介護にしないための運動と栄養を組み合わせたプログラムであることです。

東京都墨田区では、平成17年から地域支援事業一般高齢者施策として、複合型の介護予防教室「すみだテイクテン」を開催しています。平成17年の第1期は、一般高齢者のみが対象でしたが、第3期以降は、一般高齢者に加え、二次予防対象者も参加しています。

その2へつづく